

第82回一般質問一覧表

3. 6. 24

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
1	村井正信	学校給食の一部無償化に向けて	日本国憲法第26条において、「義務教育は、これを無償とする」とある。学校給食法には、「学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る」と規定されている。	部長
			1) 保護者からの実費徴収金はいくらか。	
			2) 平成30年に文部科学省が「29年度学校給食の無償化等の実施状況」調査を実施している。現時点において、県下での無償化及び一部無償化している自治体の数はいくらか。	
			3) 世帯内に養育する18歳以下の子どもが3人以上いる世帯はどれだけあるか。	
			4) 就学援助を受けている世帯数では既に給食費が実質的に無償化となっている。子どもが3人以上いる世帯の内、就学援助を受けている世帯数と児童生徒数は？	
			5) 世帯内に養育する18歳以下の子どもが3人以上いる世帯のうち、3人目の給食費を無償化した場合の市の負担額はいくらになるか。	
		6) 今年の4月から給食センターの調理場の民間委託が実施され、930万円が削減されたと報告があった。この費用を世帯内に養育する18歳以下の子どもが3人以上いる世帯に対し、第3人目以降の児童生徒の給食費の無償化に充てるべきと考えるが、教育長の意向を聞く。	教育長	
		公営の合葬式墓所の整備について	合葬式墓所とは一つの墳墓に多数の焼骨を合同して埋蔵する墓所である。それを自治体が運営することで、安心感が得られる。2019年(R元)9月の第70回定例会で、高松霊園利用者に対し、合葬式墓地に対するアンケート調査を実施することであった。調査結果の内容を聞く。	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>①調査結果についての質問</p> <p>1) 報告書では、「これから10年間の間に、約20件の返還が見込まれる」とあるが、何を根拠に20件と想定したのか。</p> <p>2) 令和2年度だけで9件返還されている。過去10年間の実績を鑑みると平均で毎年4～5件は返還があるのではないかと。返還数の想定を見直さないのか。</p> <p>3) 「永代供養をしてもらえる納骨堂や合葬式墓地を利用したい人」は51.1%もある。</p> <p>調査では、承継に対する不安や、墓地形式ではない利用を希望している人が多くいる。このような現実に対し、どのように考えているか。</p>	答弁 部長
			<p>② 返還数の増加について</p> <p>平成24年度からの墓地の返還数が増えている。返還の多い理由をどのようにとらえているか。</p>	
			<p>③ 公営による合葬墓の安価性について</p> <p>コロナ禍の中で経済的に困窮する人が増えている。公共による合葬墓所の利用料は永代供養に比べてもはるかに安価である(県下での利用料は5万円～15万円、施設建造費は根室市では480万円)。安価さについてはどう考えているか。</p>	市長
			<p>④ 市民全体を対象にしたアンケート調査を</p> <p>高松霊園利用者対象アンケート以外にも、市民全体へのアンケート調査の実施で市民の声を聞くことが必要であるが、市長の考えを聞く。</p>	
2	吉井敏恭	ワクチン接種、「警報」発表による集団接種中止について	<p>(1) 「警報」が発表された場合の取り扱いについて</p> <p>(要旨) 早朝より終日、警報が発表されている場合は容易に理解できるが、一時的に発表された場合の対応は</p> <p>(2) 接種中止の場合、「予約は取り消される」とあるが、予約者への対応は</p> <p>(要旨) 取り消された予約者への周知方法は。別枠を設けて対応することを考えられないか</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(3) 接種「9月完了」目標～目標達成への思いについて (要旨) 高齢者の接種漏れの防止、子育て世代への「お子さま一時預かり」など目標達成に向けた思いを尋ねる</p>	市長
3	東野敏弘	門柳川流域を都市と農山村の交流ゾーンに！	<p>(1) 日本のへそ・日時計丘公園、フォルクスガーデン、黒田庄ふれあいスタジアムの取り組み、果たしている役割について問う。 (要旨) 門柳川沿いには、西脇市立の施設として日本のへそ・日時計丘公園、フォルクスガーデン、黒田庄ふれあいスタジアムの取り組み、果たしている役割、今後の方向性を問う。</p> <p>(2) 「農醸プロジェクト」の取り組みを問う。 (要旨) (株)萬乗醸造の門柳川沿いへの進出により、地元の農業振興が大きく進みつつある。さらに、研修棟の建設により、農業と醸造の人材育成を目指す方向性も打ち出されている。(株)萬乗醸造との連携を図り、地元地域との交流をどのように進めようと考えているのかを問う。</p> <p>(3) 秋谷里山林・白山トレッキングコースの取り組み (要旨) 西脇市は、日本トレッキング協会に法人加盟をしている。コロナ禍にあって、トレッキング愛好者が増えてきている。秋谷池・庵谷池の里山整備、白山・西光寺山トレッキングコースの整備を、地元集落や野外活動協会等が整備を行っている。矢筈山の整備のように、トレッキング愛好者に親しまれるような環境整備やPRが必要と考える。市行政の取り組みを聞く。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(4) 門柳山の整備と森林政策 (要旨)</p> <p>門柳山は、「サントリー天然水の森」の指定により、企業が林道整備や間伐材の伐採等、精力的に取り組んでいただいている。間伐材の伐採とともに、材木の搬出も容易になってきている。企業との交流もとともに良質な材木の利活用を行っていくことが大切であると考えている。市行政の考えを問う。</p>	部長
			<p>(5) JAみのり特産開発センターの取り組み (要旨)</p> <p>JAみのり特産開発センターは、黒田庄和牛・百日鶏の加工販売、コロッケ製造販売、日本酒等の特産品の販売を行っている。特産開発センターがより有効活用され、都市と農山村の交流拠点施設となるよう、JAみのりとの連携が必要と考える。</p>	部長
			<p>(6) 門柳川流域を都市と農山村の交流観光ゾーンに！ (要旨)</p> <p>門柳川流域には、多くの市立施設とともに、民間施設があり、都市部から多くの方がレジャー・観光・スポーツ・研修等に訪れられている。それぞれの施設の連携とともに、関係する団体の密接な協力・連携により、都市と農山村の大きな交流が図られ、西脇市全体の活性化にも大きく役立つと考える。市長の考えを聞く。</p>	市長
4	浅田康子	持続可能なまち（SDGs）の推進	<p>(1) 西脇市が取り組んでいるSDGsの取組と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西脇市が自治体SDGs先進度調査で総合1位に評価された事業とは ・西脇市が「SDGs未来都市」に選定された取組とは 	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(2) 令和3年度より再編された公共交通めぐリン、むすブンについて (GOAL11)</p> <ul style="list-style-type: none"> めぐリン・むすブンの運行開始から約3か月になる、直近の登録人数、利用件数、利用者の傾向等 予約をする時間が1時間前からとなっているが、短くして欲しいとの声がある(特に帰りの予約)検討が必要では 利用者の声を聞くアンケートを実施してはどうか 	部長
			<p>(3) コロナ禍による女性への影響について (GOAL1・GOAL5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の生活で就労等、支援を必要とする女性からの相談は 様々な理由で家庭や個人の収入が減ると生理用品の購入をためらう女性が増えると言われている、「生理の貧困」への支援が必要ではないか 	
			<p>(4) ・SDGs GOAL1、GOAL5に寄り添い西脇市として「生理の貧困」を支援する考えと、持続可能な西脇市の今後の取組と目標を市長に問う</p>	市長
5	村岡栄紀	行政のデジタル化(DX)推進に向けて	<p>① 新庁舎に移転した現在、「住民サービスの向上」という点において、本格的デジタル化にむけて具体的にどういったスタートを実現したのか。(住民向けDX)</p> <p>② 新庁舎に移転した現在、「市役所の業務効率化」という点において、本格的デジタル化にむけて具体的にどういったスタートを実現したのか。(庁内向けDX)</p> <p>③ 本市において、デジタル化の中心となる部署は情報戦略担当になると考えるが、その役割とメンバーに求められるスキル、人数の展望や配置転換等の考え方は。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>④ 情報戦略担当と市役所各部署との円滑なコミュニケーション構築のため、各部署にデジタル化プロジェクト担当者の配置、及び、全庁的なデジタル化に対するスキルアップ等が必要だと考えるが。</p> <p>⑤ 各部署で働く職員さんは、限られた人員で様々な業務を遂行することで大変だと考えるが、どのようにして協力体制を構築し、各部署をデジタル化プロジェクトに巻き込んでいこうとしているのか。</p> <p>⑥ デジタル化を全庁的なプロジェクトとして成功させるために、どういったことに重点を置き、どういった順序での展開を考えているのか。</p> <p>⑦ 新たなデジタル化システムの導入に対して、現在の業務フローの見直しをどのように進めていくのか。</p> <p>⑧ ポストコロナの時代において、今後、行政のデジタル化を進めていく上で、3密の回避やソーシャルディスタンスといった新しい生活様式での危機管理をどのように捉えているのか、また、窓口等の対面サービスをデジタル化し、スマートフォン等を活用することにより、市役所に行かなくてもオンラインで手続等ができる状況を構築すべきだと考えるが。</p>	<p>部長</p>
			<p>⑨ これまでのアナログ中心の行政サービスや業務をデジタル化していくことは、非常に難関ではあるが、本市の将来を担う重要なプロジェクトになると考えるが、市長の展望と決意を聞く。</p>	<p>市長</p>

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
6	美土路祐子	子どもたちの未来を全力で守るためにワクチン接種とマスクについて	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症 これまでの状況と考察</p> <p>①感染者数、死亡者数の状況は？(国、県、市)</p> <p>②超過死亡について</p> <p>③西脇病院での状況、医療は大丈夫なのか</p> <p>④新型コロナウイルス感染症の後遺症について西脇市、及び西脇病院はその実態をつかんでいるのか</p> <p>⑤この1年の考察から考えるワクチンの必要性について</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症にまつわる疑問 正しく恐れるために</p> <p>①感染者数と総検査数</p> <p>②陽性者数＝感染者数なのか</p> <p>③PCR検査のサイクル数(CT値)について</p> <p>④死亡者数について</p> <p>⑤インフルエンザワクチンとの比較 インフルエンザが無くなっていることやウイルス干渉</p> <p>(3) コロナウイルスワクチンに対しての正しい理解が必要 正しい理解が差別、偏見、強要、誤解の解消にもつながるのではないか</p> <p>①ワクチンの効果について 打ったら大丈夫だという誤解</p> <p>②ファイザーワクチンの有効性95%について</p> <p>③副反応について</p> <p>④まだわからないことが多いワクチンであること</p> <p>⑤予防接種健康被害救済制度について</p> <p>(4) コロナウイルスワクチンの情報について 市民の情報源がテレビに偏っている問題</p> <p>①予防接種実施主体としての認識の確認 ワクチンの有効性、安全性、危険性、副反応の状況など、様々な最新の情報を市はタイムリーにつかんでいるのか。又は能動的につかもうとしているのか。勉強しているか。</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>②市民へのワクチンの情報提供（正確な情報発信）について 1人でも多くの人に正しい判断をしていただくための取組を！ 広報紙、ホームページ、接種券との同封などもっと積極的に正しい情報を広報すべきではないか。</p> <p>(5) ワクチン接種事業開始後の状況について ①西脇病院の医療従事者の接種率、接種人数は 副反応など体調不良者は出ていないのか ②西脇市民の接種率、接種人数は 副反応など体調不良者は出ていないのか ③厚労省へ副反応疑いを報告した事例はあったか ④厚労省へ報告するかどうかの判断について</p> <p>(6) コロナワクチン接種にまつわる問題について ①同調圧力、強制、強要、差別、不利益をなくするためには 市や市長のところに同調圧力の相談は来っていないか 職域や学校などは、大丈夫か？市が支援することは？ ②コロナ感染症の後遺症、及びワクチン接種後の市民の不安を軽減する取組が必要ではないか</p> <p>(7) こどもや若い世代のワクチン接種については特に慎重になるべきではないか ①年代別のコロナワクチンのリスクとベネフィットについて ②若い世代へのワクチンの必要性について ③不妊のリスクの可能性について ④市民向けワクチン講演会（勉強会）を急ぎ開催すべきではないか</p> <p>(8) 命と中長期的、持続的な健康を守ることについて ①市民全員が自然免疫を高め、獲得免疫にたよらず、感染しにくい体を作っていくこと の取組の強化を</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			②多様な選択肢を増やし、自由に選べる町にすることがより寛容で居心地のよいまちになり、良い方向へいくのではないか。	市長
7	林晴信	消防団員の処遇改善について	<p>(1) 西脇市消防団の最高責任者は誰か？</p> <p>(2) 報酬等周辺自治体との差異について (要旨) 現状比較をもとに見解をきく</p> <p>(3) 全国平均との差異について (要旨) 現状比較をもとに見解をきく</p> <p>(4) 総務省消防庁長官通知について (要旨) それに対して現時点でどう取組もうとしているのか 年額報酬・出動報酬・支給方法・団の運営費など</p> <p>(5) 消防団員の相談体制について (要旨) 団員が消防団活動における様々な悩みについて相談できる場所はあるか。改善を提案できる体制はあるか。</p> <p>(6) 消防団の処遇改善について (要旨) 消防庁長官通知を受け、来年度からどうする考えか</p>	部長
8	寺北建樹	部落解放同盟との定期協議について	<p>(1) 市長・教育長が参加する民間団体との定期的(年1回以上)な協議・会議について</p> <p>(2) 部落解放同盟について (要旨) 年1回の総会、会費徴収をしている支部は？</p> <p>(3) 定期協議の内容について (要旨) ①人権部局の体制の強化 ②会計年度任用職員制度 ③隣保館の相談業務 ほか</p> <p>(4) 今なお八鹿高校事件や確認・糾弾行為について総括(自己批判)を行っていない部落解放同盟との (要旨) 定期協議は、部落問題の真の解決・市民の理解に逆行しているとは考えないか？</p>	市長 教育長
		人権施策推進審議会	<p>(1) 公募委員の選出経過について</p> <p>(2) 今後の具体的な審議内容と日程について</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
9	坂部武美	審議会等への女性委員の登用について	(1) なぜ女性委員の登用率 30%を目指すのか (2) 女性委員登用率の推移は (3) 女性委員登用率 30%を達成している委員会等と達成していない委員会等の数と委員会等名は。達成していない理由は (4) では、どうすれば全ての委員会等で女性委員の登用率 30%を達成できるのか	市長 部長